

日本での初一人暮らし

大学名 建国大学校

あなたの・名前 JUNGSEOYEON (ジョンソヨン)

日本に来る前、私が一番心配していたのは日本語の実力でも文化の違いでもありませんでした。生まれて初めての「一人暮らし」が一番大きな心配ごとでした。親の助けもなく料理、洗濯、掃除をすべて自分で行き、転入届や公共料金の支払のような事務的な手続きまで一人でしなければならなかったことが、大きなプレッシャーでした。

日本に着いて初めての夜、案内メールをよく確認していなかったせいで寝具のレンタルができませんでした。結局、枕もないまま寝るしかありませんでした。あの時の心細さは、今でもよく覚えています。皆さんは、大学から届くメールをちゃんと確認しておくことをお勧めします。

ですが、いざ始めてみた一人暮らしは、想像以上に楽しかったです。誰のことも気にせず、自分の好きな時間に起きて、自分だけの時間を過ごすことはとても心地よかったです。面倒だと思っていた家事も、「自分の空間を作って、自分自身のために動くこと」だと考えたら、楽しくなりました。

私が過ごした寮「音羽館」は、設備がとてもよく揃っていて、生活しやすかったです。部屋には冷蔵庫、IHコンロ、電子レンジがすべて備わっていて、料理をするのに本当に便利でした。そのおかげで、寮でも韓国料理をよく作って食べました。日本のスーパーは食材が少量ずつ売られていて安く、割引も多いため、以前は全く興味がなかった料理が自然と趣味になりました。

音羽館は、安全で清潔なので、安心して過ごせる場所です。何より、外出する時や帰ってきた時に、いつも優しくあいさつしてくださった管理室の方々に心から感謝しています。



今回の留學生活では日本語が上達したり、色々な場所を旅行できたりしたことも良かったですが、私は「自立して生きる方法」を学べたことが、最も価値のある経験だったと感じています。ここでの思い出を大切にします。